



中北マナーキャラクター  
中北みどりちゃん

## 和室の作法

寒い日はこたつにみかんと、のんびり過ごすことも多い和室ですが、実は、襦ふすまの開け方や歩き方にも作法があります。いざというときに、自然に振る舞えるよう、和室での作法や言い伝えをご紹介します。

### 和室の入り方

和室の動作は座って行のが基本。「失礼します」の声掛けは、襦を開ける前に。中にいらっしゃるお客さまが座り直せるよう少し間をおいてから、次の手順で襦を開閉します。みどりちゃんと一緒に確認してみましょう。



作法によって諸説ありますが、かしまった席では丁寧に入室できるといいですね♪

### 踏まないで『畳のヘリ』



昔から「たたみのヘリを踏むとバチが当たる」といわれますが、それは武士の護身術が理由だとか。敵が床下に潜んでいて刃物で突き刺してくるような場合、刃物が通りやすい畳のヘリの上にいるのは、危険だというわけです。また、武家の屋敷ではヘリに家紋を入れることがあり、大事な家紋を踏むのは無礼であるとの理由もあるようです。



### 踏まないで『敷居』



和室の部屋と部屋の境には敷居があります。そこを踏まずに通ることが昔からの作法。

敷居はその家の象徴とされ「敷居を踏むことはその家のご主人の頭を踏みつけることになる」といわれています。また、敷居を踏みつけると立て付けが悪くなり、敷居が歪んで戸の滑りが悪くなる原因になります。さらに古くなると足にささくれが刺さる恐れがあるからだともいわれます。

参考文献：日本人礼儀作法のしきたり（著：朝倉晴武）

マナーインストラクター部HPです。ぜひご覧ください。次回は4月発行予定です  
<https://www.nakakita-manner.com/> お楽しみに♪

